

猫実川 事業効果について



猫実川は東京メトロ東西線浦安駅前を源とし、東京湾にいたる流域面積1.18km³、指定延長1,270mの2級河川です。

地盤沈下が進み、自然排水能力の低下した浦安市にとって、水害から市民の生命財産を守る重要な河川です。

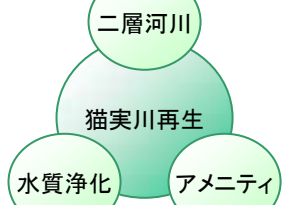
整備前



整備後



水質に問題があり、また、駅前ということもあり、かねてから暗渠化が強く要望されてきました。千葉県、浦安市は地元住民及び学識経験者の意見を広く聞きながら、蓋がけしながらも川を失わず、さらに水質浄化も図るという考え方から「二層河川」という改修方法を取り入れました。



改修が完了し、地元から利用しやすいとの声がよく聞かれます。

1. 二層河川

河川を二層化して、駅前に広場空間を創出し、旧江戸川から直接水を引き込んだ「せせらぎ」をつくっています。地下にはボックス化した河川断面を確保し、治水能力を低下させないようにしています。

2. 水質浄化

流域は9割が市街化されており、下水道が整備されているにもかかわらず、不明な排水が水質を悪化させていました。二層河川にすることで地下に浄化施設の設置が可能になり、BOD10mg/l以下を目標として浄化をしています。

3. アメニティ

歩き、たたずみ、休憩することが楽しくなるような明るい歩行者空間を創出するため、色々な工夫に努めました。

